

## 令和4年度（2022年度）事業計画書

自 令和4年（2022年）4月1日  
至 令和5年（2023年）3月31日

### PMF2022の実施にあたって

PMF2022では、コロナ禍においても国際教育音楽祭としての役割を果たし、市民や観光客に一流の音楽を届けるため、3年ぶりに海外からアカデミー生や教授、アーティストが参加する本来の姿での開催を目指す。

しかしながら、現在も世界中で新型コロナウイルスのパンデミックが継続し、海外からの入国制限及び入国後の活動制限がどのようになるのか見通せない状況である。

PMF2022では、万が一教授陣の入国が叶わない場合にもオーケストラ教育ができるよう、教授陣のバックアップとしてセクションリーダーを新たに設置し、国内のオーケストラで活躍する修了生を充てる。

その他、この事業計画を踏まえつつ、今後のコロナ動向に応じて柔軟に運営していくこととする。

### PMF2022 概要

- |                 |                               |
|-----------------|-------------------------------|
| 1 開催期間          | 2022年7月16日（金）～8月2日（火） 18日間    |
| 2 開催地           | 札幌市、函館市、苫小牧市、奈井江町、東京都         |
| 3 公演数           | 約20公演                         |
| 4 参加アーティスト      |                               |
| 首席指揮者           | ラハフ・シャニ                       |
| 客演指揮者           | ケン＝デイヴィット・マズア                 |
| PMFオーケストラ共演ソリスト |                               |
|                 | 調整中<プログラムA>                   |
|                 | 小曾根真（ピアノ）<プログラムB>             |
| ゲストアーティスト       | 九嶋 香奈枝（司会／ソプラノ）<リンクアップ・コンサート> |
|                 | 穴澤 彩佳（ソプラノ）<リンクアップ・コンサート>     |
|                 | 岡元 敦司（バリトン）<リンクアップ・コンサート> ほか  |
| オーケストラ          | PMFオーケストラ                     |
|                 | 札幌交響楽団（PMFホストシティ・オーケストラ）      |

**教授陣** (\*はPMF初参加を表す/☆はPMF修了生を表す)

◆PMFヨーロッパ (会期前半 - プログラムA)

ヴァイオリン	ライナー・キュッヒル (前ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター)
ヴァイオリン	ダニエル・フロシャウアー (ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団)
ヴィオラ	ハインツ・コル (前ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団)
チェロ	シュテファン・ガルトマイヤー (ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団)
コントラバス	ミヒャエル・ブラーデラー (ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団)
フルート	アンドレアス・ブラウ (前ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団首席奏者)
オーボエ	ジョナサン・ケリー (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
クラリネット	アレクサンダー・バーダー (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
ファゴット	シュテファン・シュヴァイゲルト (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
ホルン	サラ・ウィリス (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
トランペット	タマーシュ・ヴェレンツェイ (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
トロンボーン	調整中
パーカッション	調整中

◆PMFアメリカ (会期後半 - プログラムB)

ヴァイオリン	スリット・バー・ジョセフ* (ワシントン・ナショナル交響楽団)
ヴァイオリン	スティーヴン・ローズ (クリーヴランド管弦楽団)
ヴィオラ	ダニエル・フォスター (ワシントン・ナショナル交響楽団)
チェロ	ハイ・イエ・ニ* (フィラデルフィア管弦楽団)
コントラバス	アレクサンダー・ハンナ (シカゴ交響楽団)
フルート	調整中
オーボエ	シンシア・コリード・デアアルメイダ* (ピッツバーグ交響楽団)
クラリネット	スティーヴン・ウィリアムソン (シカゴ交響楽団)
ファゴット	ダニエル・マツカワ☆ (フィラデルフィア管弦楽団)
ホルン	ウィリアム・カバレロ (ピッツバーグ交響楽団)
トランペット	マーク J. イノウエ (サンフランシスコ交響楽団)
トロンボーン	ティモシー・ヒギンズ* (サンフランシスコ交響楽団)
ティンパニ	ジョセフ・ペレイラ*☆ (ロサンゼルス・フィルハーモニック)

◆PMFピアニスト 佐久間 晃子

◆セクションリーダー 16人 (予定)

## アカデミー教育

### 1 PMF2022 オーディション

インターネットのオーディション専用ポータルサイトを利用したレコーディングオーディションを2年ぶりに実施している。

- ・応募期間：令和3年12月1日（水）～令和4年2月16日（水）※日本時間正午
- ・応募状況：56カ国・地域 973名

### 2 PMF2022 アカデミー教育

オーケストラ・アカデミー（50名）

PMF創設者レナード・バーンスタインの基本的理念であるオーケストラ・アカデミー教育を引き続き実施する。首席指揮者ラハフ・シャニと客演指揮者ケン＝デイヴィット・マズアが指揮するほか、PMFヨーロッパ、PMFアメリカの教授陣がアカデミーの指導にあたり、2022年は主に2つのオーケストラプログラム（A、B）の教育を行う。東京公演を含め7回のオーケストラ演奏会のほか、室内楽演奏会等に出演し、教育の成果を披露する。

なお、コンダクティング・アカデミー及びヴォーカル・アカデミー、アジア・フェロー・プログラムは、国内外における新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、休止する。

### 3 PMF2023 オーディション

令和4年11月頃受付開始予定。

## PMF2022 演奏会

○2022年は海外からもアカデミー生、指揮者、教授陣を迎え、以下の事業に取り組む。

- ・オーケストラの2つのプログラムを、それぞれPMF初参加となる新進気鋭の指揮者のもと重厚な音楽をコロナ禍を乗り越えて作り上げていく。首席指揮者には、ズービン・メータの後任としてイスラエル・フィルハーモニーの音楽監督に就いたラハフ・シャニ、客演指揮者にはクルト・マズアの息子であり、タングルウッド音楽祭でも教育に携わり、その才能を期待されているケン＝デイヴィッド・マズアが務める。
- ・ジャズ界はもとより、クラシックでも活躍する日本を代表するピアニスト小曾根真をプログラムBのソリストとして迎える。音楽の楽しさを独特の演奏でアカデミー

生とも観客とも共有するピアニストであり、PMFには2008年以来2回目の登場となる。ピクニックコンサート、PMF GALAコンサート、東京公演に出演する。

○上記を含めたPMF2022の主なコンサートスケジュールは次のとおり。

- ・7月16日(土) PMF2022 オープニング・コンサート<プログラムA>  
(札幌コンサートホール Kitara)  
バーンスタイン:「キャンディード」序曲  
メンデルスゾーン:交響曲 第5番 「宗教改革」 ほか
- ・7月17日(日) PMF オーケストラ 苫小牧公演<プログラムA> (苫小牧市民会館)
- ・7月18日(月祝) PMF ベルリン演奏会 (札幌コンサートホール Kitara 小ホール)
- ・7月20日(水) PMF ウィーン演奏会 (札幌コンサートホール Kitara 小ホール)
- ・7月22日(金) PMF ホストシティ・オーケストラ演奏会(札幌コンサートホール Kitara)
- ・7月23日(土) PMF アンサンブル 奈井江公演 (奈井江町文化ホール)
- ・7月24日(日) PMF 時計台コンサート (札幌市時計台ホール)
- ・7月25日(月) PMF アンサンブル 函館公演 (函館市芸術ホール)
- ・7月29日(金) PMF アメリカ演奏会 (札幌コンサートホール Kitara 小ホール)
- ・7月30日(土) ピクニックコンサート<プログラムBほか> (札幌芸術の森・野外ステージ)  
プロコフィエフ:ピアノ協奏曲 第3番 ハ長調 作品26  
ブラームス:交響曲第2番 二長調 作品73 ほか
- ・7月31日(日) PMF GALAコンサート<プログラムBほか>(札幌コンサートホール Kitara)  
プロコフィエフ:ピアノ協奏曲 第3番 ハ長調 作品26  
ブラームス:交響曲第2番 二長調 作品73 ほか
- ・8月2日(火) PMF オーケストラ 東京公演<プログラムB> (サントリーホール)  
プロコフィエフ:ピアノ協奏曲 第3番 ハ長調 作品26  
ブラームス:交響曲第2番 二長調 作品73 ほか

### 音楽普及のための取り組み

一般の人々が身近にクラシック音楽に触れることができる機会を提供することで、クラシック音楽の普及を図る。

2022年度は、PMF2021では実施を見送ったPMFリンクアップ・コンサートを再開し、PMF教育セミナーの後継事業として新たにスタートしたPMFクラシックLABO♪を継続実施するほか、地元大学の音楽専攻生を対象としたPMF公開マスタークラスやユース・ウイング席を実施するなど、若い世代へのクラシック音楽の普及、未来を担う人材の育成に向けて取り組む。

## 1 PMFリンクアップ・コンサート

アメリカ・ニューヨークのカーネギーホールとの連携により、PMF2013において日本で初めて実施した、小学生向けの音楽教育プログラム。子どもたちが歌やリコーダー演奏（例年の場合）でPMFオーケストラと共演する機会を設け、これまでになく一流の音楽との出会いの場を提供する。本年はコロナ禍でも安全に開催できるよう内容を工夫する。札幌市内7～8の小学校6年生児童約680名が参加予定。

## 2 オープンリハーサル

札幌コンサートホール Kitara 等で行われるPMFオーケストラのゲネプロ（本番前の全体練習）やリハーサルの指導風景を、音楽関係者及び小学生から25歳（1997年生まれ）までの若い世代等を対象に無料で公開する。定員は1回につき200名。

## 3 PMFクラシックLABO♪

音楽関係者を講師に迎え、クラシック初心者にもわかりやすくクラシック音楽の魅力を伝える音楽講座を会期内外において実施する。

## 4 オーケストラ訪問リハーサル

PMF教授陣が札幌市内及び近郊の学校やアマチュアのオーケストラを訪問し、最高レベルの教育を提供する。

## 5 PMF公開マスタークラス

アカデミー生を指導するPMF教授陣が、北海道で音楽を学ぶ専攻生を楽器・編成別に直接指導し、その様子を一般に公開する。ヴァイオリン、木管楽器、金管楽器等、計3日6講座を予定。

## 6 ユース・ウイング席・U25割引の設定

クラシック音楽を未来につなげるため、小学生から25歳（1997年生まれ）までの若い世代に、札幌コンサートホール Kitara で開催する一部の公演において、オーケストラを一望できる「ユース・ウイング席」を無料で提供する。

また、U25割引（ピクニックコンサートは芝生自由席無料）を引き続き実施し、ユース世代がよりクラシック音楽に接しやすい環境を提供する。

## 7 学校DEカルチャー

札幌市が主催するプロジェクト「学校DEカルチャー」の一環として、PMF修了生等を小学校に派遣し、「PMF音楽スクール」を実施する。

## 8 修了生によるミニ・コンサート

会期外においてクラシック音楽の普及やPMF事業の認知度を高めるため、メインスポンサー等の協力も得ながらミニ・コンサートを開催する。